

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金（街路事業）		路線又は箇所名等	木更津都市計画道路 3・3・7号中野畑沢線 袖ヶ浦都市計画道路 3・3・11号西内河根場線			
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成29年度	用地着手年度	平成30年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成30年度 令和10年度	再評価の理由		再評価	
費用便益比 B/C	1.2 (1.8)	総費用	60億円 (39億円)	総便益	70億円 (70億円)	基準年	令和5年度	供用開始 年度	令和11年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

（目的）

本路線は、主要地方道袖ヶ浦中島木更津線のバイパス区間の一部であり、東京湾アクアライン接岸地の金田地区と袖ヶ浦駅の海側の地区を結ぶ都市計画道路である。主要地方道袖ヶ浦中島木更津線は、東京湾アクアライン接岸地の区画整理事業等により多くの人で賑わっており、自動車交通量が多く、慢性的な渋滞が生じている。

当該区間の整備により、周辺道路の交通が転換し交通混雑が緩和され、交通の円滑化を図るとともに、整備済みである区画整理地内の道路と接続し両地域の連携を強め、アクアライン接岸地周辺と袖ヶ浦市街地のアクセス向上を図るものである。

（実施内容）

- ・総事業費：68億円
- ・事業延長：L=1,059m
- ・事業認可期間：平成29年度～令和10年度

【事業の進捗状況】（令和5年度末見込み）

	全体計画（億円）	投資事業費（億円）	残事業費（億円）	進捗率（%）
全体	68	20	48	30

【社会経済情勢等】

主要地方道袖ヶ浦中島木更津線の木更津市中野地先交差点では、朝夕に最大140mの渋滞が発生している。

さらに、本路線に接続する区画整理事業の対象地域における人口が増加傾向であり、新たな交通需要の増加への対応が求められる。

【対応方針（案）】

継続

全体事業の費用便益比（B/C）が1.2（残事業1.8）であり、投資効果が見込まれる。

整備効果として、周辺道路の交通円滑化、渋滞の緩和が期待できることから事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

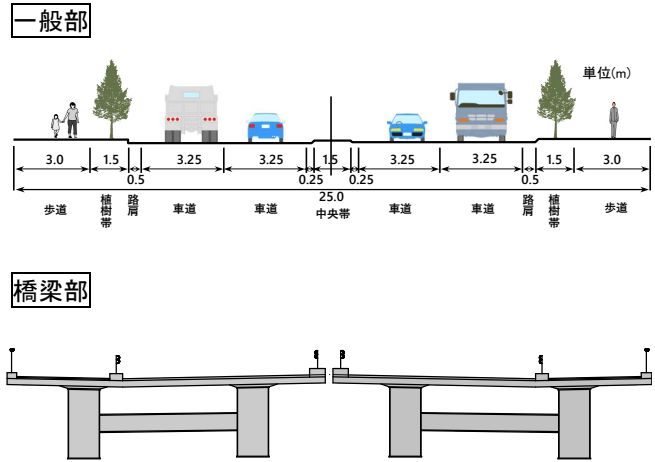
事業概要図

番号	2	事業名	社会資本整備総合交付金（街路事業）	路線又は箇所名等	木更津都市計画道路 3・3・7号中野畑沢線 袖ヶ浦都市計画道路 3・3・11号西内河根場線
----	---	-----	-------------------	----------	--

位置図



標準断面図



平面図



【別紙様式 5】

再評価事業に関する調書

番 号	2	事 業 名	社会資本整備総合交付 金事業（街路事業）	路線又は箇所名等	木更津都市計画道路 3・3・7号中野畑沢線 袖ヶ浦都市計画道路 3・3・11号西内河根場線
事業化年度	平成 29 年度	用地着手年度	平成 30 年度	工事着手年度	平成 30 年度
【現在計画の概要】					
当初評価実施年度 （基準年）	平成 28 年度	供用開 始年度	令和 6 年度	対応方針	継続
B / C	1. 6	総費用	2 4 億円	総便益	3 9 億円
現在計画の進捗状況					
		計 画	進捗状況		
	全体事業費	3 1 億円	2 0 億円 (65%)		
	うち用地補償費	2 億円	3. 3 億円 (165%)		
	うち工事費	2 9 億円	1 6. 7 億円 (58%)		
【再評価（令和 5 年度）の概要】					
再評価実施年度 （基準年）	令和 5 年度	供用開 始年度	令和 11 年度	対応方針	継続
B / C	1. 2 (1. 8)	総費用	6 0 億円 (3 9 億円)	総便益	7 0 億円 (7 0 億円)
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業					
現在の進捗状況					
		計 画	進捗状況 (R5 年度末見込み)		
	全体事業費	6 8 億円	2 0 億円 (30%)		
	うち用地・補償費	3. 4 億円	3. 3 億円 (97%)		
	うち工事費	6 4. 6 億円	1 6. 7 億円 (26%)		
再評価後の 経過 及び 処理状況	令和 6 年 1 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再評価 (継続 が妥当である)				